

# 分校だより

## 7月号



地域と共に歩む  
大曲農業高等学校太田分校  
(TEL) 0187(88)1311  
(FAX) 0187(86)9035

### 「一学期終業式」 「コロナに翻弄された一学期 大切なことは思ったことを行動に移すこと」

高梨校長先生のお話

早いもので今日は一学期の終業式となりました。この四ヶ月を振り返ると、コロナウイルス感染防止のため三週間に及ぶ休校、そして第一回定期考査の取りやめがありました。また、出校できるようになってからも三密を避け、マスクを着用するなど新しい生活様式に目に見えない不安を抱えた人も多かったのではないのでしょうか。その中でも全校田植え競技会や運動会を実施できたことは本当に良かったと思います。この二つの行事は生徒一人ひとりが持てる力を発揮して本当によく頑張ってくれました。クラスが一致団結し、協力して応援したり、お互いの声かけなど、皆さんの笑顔がたくさんありました。また、普段の授業においても、学習に取り組む姿を見ることができて良かったと思います。さらに全県大会へ代替大会が今月行われ、自転車競技においては三年生の野中嘉紀君が出場しました。部員一名で様々な場面で大変だったと思いますが、最後まで本当によく頑張りました。硬式野球部は他の高校との合同チームではなく、単独で出場して平成高校と対戦しました。結果は五回コールド負けでしたが、必死に白球を追いかけて、頑張る姿に感動を覚えました。どちらも全校応援が出来ず残念でしたが、これまでの努力に大きな拍手を送りたいと思います。



話は遡りますが、四月初めの始業式で皆さんに二つのことをお願いしました。一つ目は相手を互いに尊重し合い、一緒になって取り組む姿勢を持って生活して欲しいということでした。相手の違った良さを見つけ、違いを否定すること無く、違いを尊重し合う、そして互いを高め合う。皆さん出来ているでしょうか？二つ目は様々なことに積極的に取り組んで欲しいということでした。授業では進んで質問をする。部活動では友達と同じ目標に向かって汗を流す。そしてクラスの友達と行事に燃えるなど何事にも前向きに行動出来たでしょうか。このことについて夏休みにもう一度自分自身で自己点検して欲しいと思います。

本校の特色については皆さん知っているとおおり、農業が学べる普通科であるということと、地域の方々と様々な交流が出来る学校であることです。農業は教室での授業もありますが、実習を通して食物を育てることの喜びや達成感をもたらせてくれる体験型の授業です。また地域の方々と交流については「分校レストラン」や「ゴルフ大会」など世代を超えた体験型の学習です。どちらも実体験を伴う学習で、出来ることならもっと多くの体験学習を皆さんに行ってもらい、様々なことを感じて学んで欲しいと思っております。コロナウイルスの感染が心配されることから、二年生は夏休みに行っていたインターンシップが延期となるなど体験学習に支障が出てきています。そこで外に出ないことも実体験に近いことが出来ることとは何か、それは読書だと思えます。読書をする中で疑似体験をしたり、自分と違っているものを見方、考え方に触れることが出来ます。夏休みはちょうど一ヶ月あります。計画的なものにしたいとあっという間に過ぎてしまひ、何をしたら分からない夏休みになってしまひます。普段なかなか読書が出来ないという人も、たまには図書室で本を借りたり本屋さんで本を買ったりして、他の視点で自分を成長させて欲しいと思います。大事なことはやるうと思っただけでは何も進歩しない。思っただけでは行動に移す。校訓に「実践躬行」という言葉があります。わずかな時間でもいいので、思っただけでは実行して欲しいと思います。特に三年生の皆さんにとっては進路に直結する夏休みとなります。自分の目指す目標を掲げ、その思いを行動で示し、進路目標を自分の手でつかみ取って欲しいと思います。

最後に、休み中に事故・事件に遭わない、そして起こさない、熱中症にもかからないように、自分で自分のことを守るということを忘れなさい。一人ひとりがそれぞれの夏休みの収穫として、頑張った話を持って全員元気に登校して頂けることを楽しみにしています。

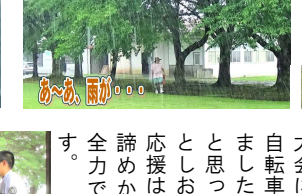
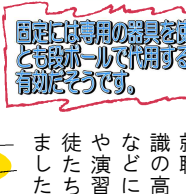
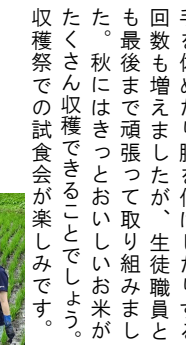
### 雨の中、全校除草作業に取り組み 今年も美味しいお米を作ろうぜ!

●7月1日水、今年も全校生徒・職員で除草作業を行いました。太田分校は農業や化学肥料を一切使わない「特別栽培米」の認証を受け、今年で六年目となります。今年も雨が多く、日照時間が足りず、稲の生長に支障が出ていまいか心配する中、雑草の生育は天候には無縁なのかとも目立ってきました。このままでは稲の生育に大きな支障が出てくるのは間違いありません。今年も水田には「ホタルイ」「オモダカ」「クログワイ」といった水田雑草が自分の存在を誇示するかの様に旺盛に生育しています。

さて、今回の除草作業は時折降る雨の中で行われました。除草する水田は五月に行った全校田植え競技会で手植えをした水田です。除草開始前から雨が降り始め、雨具を着用しながらの作業となりました。湿度も高く、お互いに声をかけ合いながら体調に注意を払いました。はじめに高橋恵二先生から除草の手順と雑草についての分別方法について説明してもらいました。「イネ」と「ヒエ」の見分け方は慣れないと難しいことから、主に区別しやすい雑草をターゲットに除草することにしました。事前に採取したものを見ながら、構造的な見分け方を勉強してから各クラスの担当区域に移動して除草作業を行いました。時折強く降る雨を回避しながら約二時間ほど作業し、昼食を挟みました。昼食には女性職員で準備した豚汁も振る舞われました。午後からは作業も時折雨が降りましたが、生徒たちは美味しいお米を作るために一生懸命除草作業を続けてくれました。約一時間の作業後、猛烈に雨が降り始め、継続は厳しいと判断し、午後の除草作業を終了いたしました。



●昨年経験のある二・三年生は雨の中でも手際よく除草していました。一年生は出だしこそ慣れない手つきでしたが、徐々にコツをつかんだのかペースアップする生徒もいました。雨の中、足も腰にもジワジワと負担がかかるように腰に手を休めたり腰を伸ばしたりする回数も増えましたが、生徒職員とも最後まで頑張っておりお米がたくさん収穫できることでしょうか。

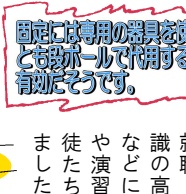


### 避難訓練・応急処置法を学ぶ

●7月15日(水)、毎年恒例の避難訓練が大曲仙北広域市町村圏組合大曲消防署東分署の方々の指導のもと行われました。今年も避難訓練は、煙の中の避難の難しさを理解するために煙道体験を取り入れられました。避難の仕方について講師を頂いた後、けが人への応急処置法についても学びました。

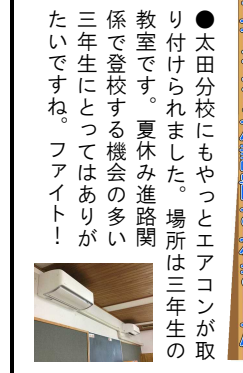
訓練は震度六の地震が発生し、机の下に避難しているところに火災が発生したという設定です。生徒たちは先生の指示に従って避難。途中設置された煙道ではゴホゴホと音を立てる生徒も見られました。消防署の方からは「煙の中を避難するときは腰を低くして、出来るだけ煙を吸い込まないように気をつけて避難しなければならぬ」と指導していただきました。

けが人への応急処置法では、けがや骨折した箇所に対応した固定の仕方や止血の方法を学びました。



**news!**  
●太田分校にもやっとエアコンが取り付けられました。場所は三年生の教室です。夏休み進路関係で登校する機会が多い三年生にとってはありがたいですね。フアイト!

**エアコンが設置されました**



### 第二回進路講演会

●7月22日(水)、三年生の就職ガイダンスを行いました。コロナの影響で厳しい進路状況ですが、国家資格キャリアコンサルタントの津田宏美氏を講師に迎え、就職・進学活動における意識の高揚を図り、面接対策などについて実践的な講義や演習体験をしました。生徒たちは目標実現のため真剣に取り組んでいました。



●7月1日(水)、夏の高校野球甲子園秋田県代替大会と全県総体代替大会自転車競技大会に出場する硬式野球部と自転車競技部の壮行式を行いました。大会が開催されないと思っただけに喜びもひとしおです。残念ながら全校応援は叶いませんでしたが、諦めかけていた最後の夏に全力で向かってきたようです。

